

合同運用金銭信託追加型商品ファンド

MF オープン

愛称 スペードのA

月次運用レポート



作成基準日 2014年10月31日



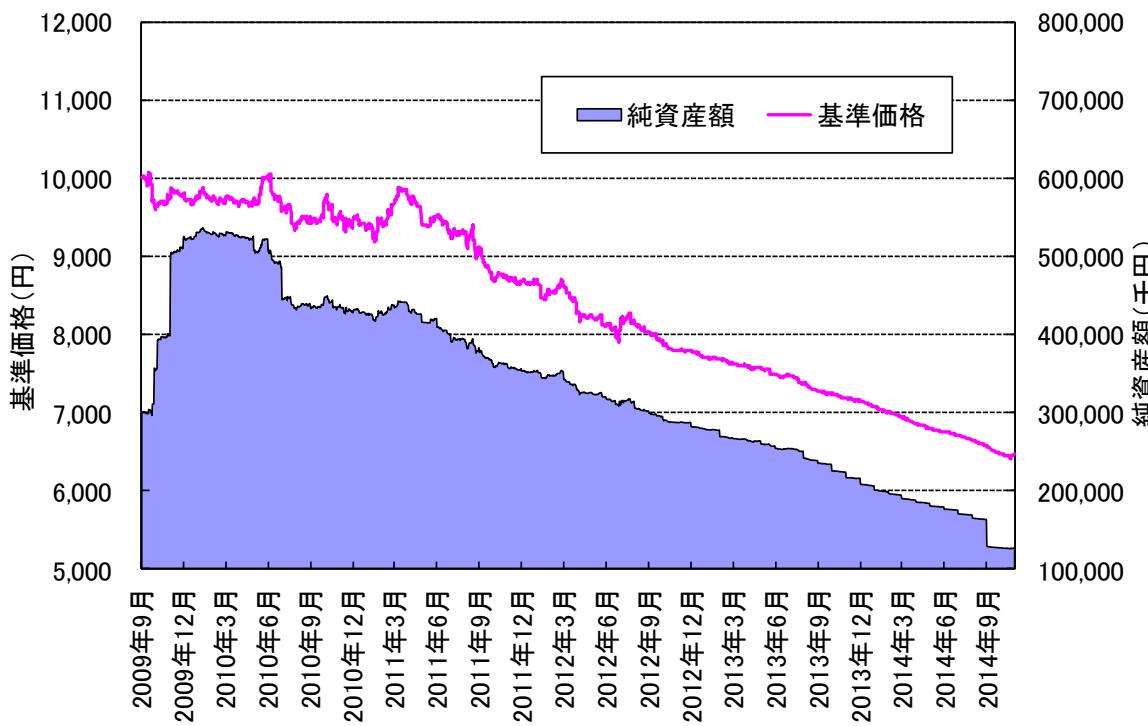
商 号 等: ばんせい証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第148号
加 入 協 会: 日本証券業協会(会社コード0281)
指定紛争解決機関: 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

●当資料は、ファンドの運用報告に関する資料として、ばんせい証券株式会社が作成したものです。●当資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。●当資料に掲載されたグラフ、図表、数値、予測その他のいかなる内容も、各種の信頼できる情報源から作成していますが、その正確性、完全性が保証されたものではありません。●本ファンドは、主に海外商品先物市場において運用を行うほか、国内外デリバティブ市場における運用および公社債等債券投資を行なっていますので、商品先物市場およびデリバティブ市場の価格動向ならびに金利動向や為替相場の変動等による影響を受け基準価格が上下し、投資元本を割り込むことがあります。●本ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。●お申込みにあたっては、販売会社より契約締結前交付書面をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

ファンドの運用実績

基準価格・純資産額の推移

※設定時の基準価格は1万円です。



直近6ヶ月の月間騰落率推移

期間	2014／5	2014／6	2014／7	2014／8	2014／9	2014／10	設定来
騰落率	-0.70%	-0.64%	-0.90%	-1.07%	-1.54%	-0.20%	-35.38%

2014年10月末現在

基準価格 : 6,462.46円

純資産額 : 127百万円

直近4計算期間の分配金額

計算期間末日	分配金(1口当り)
2013年 11月末	—
2014年 2月末	—
2014年 5月末	—
2014年 8月末	—

※各計算期間末日の基準価格が当初基準価格の1万円を超えると見込まれる場合、超過分を限度に配当が行われる場合があります。

●当資料は、ファンドの運用報告に関する資料として、ばんせい証券株式会社が作成したものです。●当資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。●当資料に掲載されたグラフ、図表、数値、予測その他いかなる内容も、各種の信頼できる情報源から作成していますが、その正確性、完全性が保証されたものではありません。●本ファンドは、主に海外商品先物市場において運用を行うほか、国内外デリバティブ市場における運用および公社債等債券投資を行ないますので、商品先物市場およびデリバティブ市場の価格動向ならびに金利動向や為替相場の変動等による影響を受け基準価格が上下し、投資元本を割り込むことがあります。●本ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。●お申込みにあたっては、販売会社より契約締結前交付書面をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

運用概況①～海外商品先物取引～

市況

10月度の国際商品市場は、銘柄によりまちまちな展開となりました。貴金属市場において金は、QE3(米国金融緩和政策)が終了し米国金利上昇懸念が徐々に高まったこと、月前半に調整場面を迎えた株式市場も月後半から順調に回復・上昇したこと、日本で追加金融緩和政策が発表となり急激にドル高が進んだことなどから1200ドルを割り込む下落となりました。エネルギー市場において原油も、地政学リスクがあまり意識されず需給にもタイト感がなく、OPECも減産に触れず現状の原油安を容認しておりドル高も進んだことから、急激に原油安が進み80ドルを下回って10月を終えました。穀物市場において大豆は、収穫が遅れている事をきっかけに生産コストが改めて意識され、中国を中心とした輸出も好調でテクニカル要因からファンドの買いもあったため10ドルを超えて上昇しました。なお、国際商品指標であるCRB指数は前月末比約2.36%、ブルームバーグ商品指数(旧 DJ-UBS指数)は同約0.81%下落しました。

運用概況

金、原油、大豆の取引を行いました。金については1250ドル付近のレンジ上限から下落を狙った取引を行ったためプラス・リターンとなりました。大豆についても、下落から上昇に転換する場面で上昇を狙った取引を行ったためプラス・リターンとなりました。原油は、80ドル付近のレンジ下限から上昇を狙った取引を行いましたが、反転上昇とはならずマイナス・リターンとなりました。結果的に全体ではプラス・リターンとなりました。

運用方針

マーケットデータを綿密に分析し、独自に開発した売買ロジックを過去データに基づいて検証する中で、一定の優位性が認められた売買プログラムをベースとしたシステム運用により、中長期的に安定的な収益の確保を目指します。

作成基準日時点の配分状況

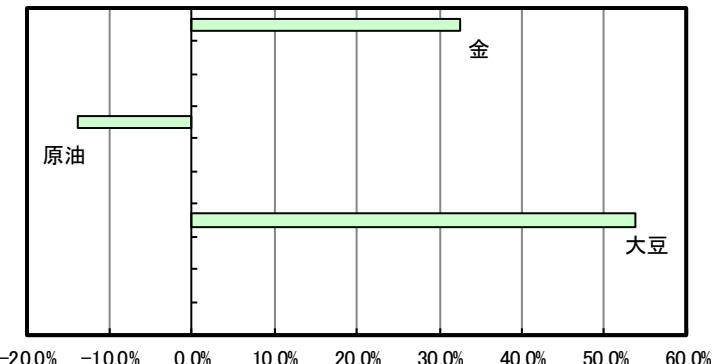
【運用資産規模】

原油 約 905万円
大豆 約 589万円



銘柄別の損益寄与度

銘柄ごとの損益の寄与度



上記損益の寄与度は、2014年10月度の各銘柄の月間損益(絶対値)を分母として割合を算出したものです。

●当資料は、ファンドの運用報告に関する資料として、ばんせい証券株式会社が作成したものです。●当資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。●当資料に掲載されたグラフ、図表、数値、予測その他いかなる内容も、各種の信頼できる情報源から作成していますが、その正確性、完全性が保証されたものではありません。●本ファンドは、主に海外商品先物市場において運用を行うほか、国内外デリバティブ市場における運用および公社債等債券投資を行ないますので、商品先物市場およびデリバティブ市場の価格動向ならびに金利動向や為替相場の変動等による影響を受け基準価格が上下し、投資元本を割り込むことがあります。●本ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。●お申込みにあたっては、販売会社より契約締結前交付書面をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

運用概況②～有価証券等投資・デリバティブ取引～

【有価証券等投資】

保有銘柄一覧

【債券】

銘柄名	国名	種類	格付	発行日	償還日	額面	利率	月末評価額
—	—	—	—	—	—	—	—	—

【その他有価証券】

銘柄名	国名	種類	口数	月末評価額
—	—	—	—	—

運用概況

当月は債券、その他有価証券への新規投資は行いませんでした。

【当月の新規投資】

※新規の債券投資は行いませんでした。

市況

10月度の海外株式市場は、米国株式市場が上昇、欧州株式市場が下落となりました。月前半はQE3終了やそれに続く米国金利上昇が強く意識され、世界的に大幅な調整局面を迎えることなく、その後、米国企業決算が好調であったことから米国株式市場は急速に回復し、月末にはダウが史上最高値を更新する上昇となりました。

欧州株式市場も同様に回復していましたが、足元の欧州経済の弱さから前月を超える上昇にはなりませんでした。

運用方針

今後もマーケット状況を注視し、新たな投資先を検討していきます。

●当資料は、ファンドの運用報告に関する資料として、ばんせい証券株式会社が作成したものです。●当資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。●当資料に掲載されたグラフ、図表、数値、予測その他のいかなる内容も、各種の信頼できる情報源から作成していますが、その正確性、完全性が保証されたものではありません。●本ファンドは、主に海外商品先物市場において運用を行うほか、国内外デリバティブ市場における運用および公社債等債券投資を行ないますので、商品先物市場およびデリバティブ市場の価格動向ならびに金利動向や為替相場の変動等による影響を受け基準価格が上下し、投資元本を割り込むことがあります。●本ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。●お申込みにあたっては、販売会社より契約締結前交付書面をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。



お申込みメモ

ファンドの名称	MFオープン「愛称:スペードのA」	契約締結時書面	ご契約の際には、金融商品取引法第37条の4に規定される「契約締結時交付書面」をよく読み、購入しようとするファンドの内容を十分にご理解ください。
申込単位	50万円以上、1万円単位 1口当たりの購入価格＝購入基準日における基準価格 (当初基準価格1万円) 基準価格:1口当たりの純資産額を表し、平成21年9月1日の運用開始当初は1万円から始まり、その価格は日々変動します。	契約の解除	本ファンドは、金融商品取引法第37条の6に規定される契約の解除は適用されません。但し、商品ファンド関連信託受益権販売契約を締結した投資家は、払込期限日の前日までに書面により販売会社へ通知することによって、当該契約を解除することができます。
販売手数料	申込金額に3.24%の料率を乗じた金額(消費税込み)	信託終了日	信託終了日は平成27年8月31日を予定しています。また、一定の要件により、繰上償還を行う場合もあります。
募集期間	平成21年9月1日(火)から平成26年8月29日(金)まで	中途解約	平成22年3月1日(月)から平成26年8月25日(月)までの中途解約期間中、毎月25日(休業日の場合は前営業日)を締切日とする中途解約が可能です。 但し、最初の購入時の購入基準日から6ヶ月目の応答日の前日までの期間は中途解約を申込むことはできません。
申込方法	購入申込書に必要事項をご記入・ご捺印の上、ばんせい証券株式会社(以下「販売会社」といいます。)の本支店へご提出いただく方法にてお申込みいただけます。 《申込期限》 募集期間内の毎週金曜日正午(営業日でない場合は前営業日) ※販売会社にて証券取引口座を開設されていないお客様につきましては、お申込み前に販売会社にて証券取引口座を開設する必要があります。	公租公課	本ファンドにより得られる収益は、利子所得として20.315% (所得税15.315%、地方税5%) の税率で源泉徴収いたします。
払込方法	下記払込期限までに申込金と販売手数料の合計額を販売会社が指定する銀行口座へお支払ください。尚、送金にかかる手数料は投資家のご負担となります。 《払込期限》 申込期限日の午後3時。販売会社におけるお客様のお振込専用口座において、払込期限の午後3時までにご入金の確認がとれたお申し込み分について有効となります。		
購入基準日	追加募集における購入基準日は、払込期限日と同日となり、当該日の基準価格が、追加募集時の購入価格となります。なお、基準価格は翌営業日に確定し、販売会社のホームページに公表されます。		

●当資料は、ファンドの運用報告に関する資料として、ばんせい証券株式会社が作成したものです。●当資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。●当資料に掲載されたグラフ、図表、数値、予測その他いかなる内容も、各種の信頼できる情報源から作成していますが、その正確性、完全性が保証されたものではありません。●本ファンドは、主に海外商品先物市場において運用を行なうほか、国内外デリバティブ市場における運用および公社債等債券投資を行ないますので、商品先物市場およびデリバティブ市場の価格動向ならびに金利動向や為替相場の変動等による影響を受け基準価格が上下し、投資元本を割り込むことがあります。●本ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。●お申込みにあたっては、販売会社より契約締結前交付書面をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。



手数料・費用・リスク

本ファンドに係る手数料

販売手数料	申込金額に3.24%の料率を乗じた額(消費税込み) 販売手数料は、申込金と併せて販売会社が指定する銀行口座へお支払ください。
解約留保金	中途解約を行う際、解約償還金に0.25%を乗じた金額が解約留保金として差し引かれ、ファンド資産に留保されます。

本ファンドに係る費用

信託報酬	信託財産の純資産額に年率0.5%の料率を乗じた金額(但し、計算期間毎の最低信託報酬額は125万円)を受託者に対して支払います。
営業者管理報酬	匿名組合の運営、管理等の報酬として組合財産の純資産額に年率2%を乗じた金額を営業者に対して支払います。
投資顧問管理報酬	商品投資顧問業者及び投資運用業者に対し、運用委託額に年率0.5%を乗じた金額を支払います。
投資顧問成功報酬	商品投資顧問業者及び投資運用業者に対し、計算期間毎に、過去の計算期間末運用収益累積額の超過額の15%を成功報酬として支払います。
先物取次手数料等	商品先物取引等の執行に対する取次手数料として、取引の都度、取次会社に対して支払います。主たる運用を行う米国市場では、1取引単位当たり往復で20米国ドルを上限とします。
その他費用	営業者の維持費用、監査費用、その他実費で支払う弁護士費用や銀行送金手数料などファンドの運営上必要となる費用が、本ファンドより支払われます。

本ファンドの主なリスク

本ファンドは、匿名組合型商品ファンドを通して、主として海外の商品先物市場へ投資を行います。また、国内外のデリバティブ市場への投資や公社債等の債券投資も行います。

価格変動リスク	本ファンドは、商品先物市場、デリバティブ市場の価格動向並びに金利動向や為替相場は、世界中の政治・経済・社会情勢、天候や気候の変化、その他様々な要因により変動するため、本ファンドの基準価格はこれらの価格変動の影響を受け、大きく下落することがあります。
信用リスク	本ファンドは、投資家の申込金を本ファンドに関連する会社等を経由し留保するため、これら関連会社等の倒産などを理由とする損失により、投資元本の一部もしくは全部を失うおそれがあります。
元本リスク	本ファンドは、投資元本および利回りが保証されたものではなく、発生することのある損失は全て投資家に帰属します。その結果、投資元本の一部もしくは全部を失うおそれがあります。
商品ファンド特有リスク	上記の他、「先物取引に係る投機性」「先物取引の資産運用効率」「先物取引の流動性」「ファンドの構成員に係る信用リスク」等の商品ファンド特有のリスクがあります。詳細は契約締結前交付書面を必ずご確認ください。

●当資料は、ファンドの運用報告に関する資料として、ばんせい証券株式会社が作成したものです。●当資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。●当資料に掲載されたグラフ、図表、数値、予測その他いかなる内容も、各種の信頼できる情報源から作成していますが、その正確性、完全性が保証されたものではありません。●本ファンドは、主に海外商品先物市場において運用を行うほか、国内外デリバティブ市場における運用および公社債等債券投資を行ないますので、商品先物市場およびデリバティブ市場の価格動向ならびに金利動向や為替相場の変動等による影響を受け基準価格が上下し、投資元本を割り込むことがあります。●本ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。●お申込みにあたっては、販売会社より契約締結前交付書面をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。



本ファンドの構成員等

■金融商品取引業者(委託者兼当初受益者、販売会社)

ばんせい証券株式会社

関東財務局長(金商)第148号

加入協会:日本証券業協会(会社コード0281)

指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

※ MFオープンお問合せ先

ばんせい証券株式会社

フリーダイヤル 0120-346-543

(平日9:00~17:00)

■運用業者(受託者)

株式会社SMBC信託銀行

■商品投資顧問業者・投資運用業者

ばんせい投信投資顧問株式会社

商品投資顧問業 農経(1)第19号

加入協会:(社)日本証券投資顧問業協会(会員第011-00822号)

日本商品投資顧問業協会

■営業者(匿名組合)

ビーワイ・インベストメント・リミテッド

■運用管理事務委託会社

ばんせい証券株式会社

●当資料は、ファンドの運用報告に関する資料として、ばんせい証券株式会社が作成したものです。●当資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。●当資料に掲載されたグラフ、図表、数値、予測その他いかなる内容も、各種の信頼できる情報源から作成していますが、その正確性、完全性が保証されたものではありません。●本ファンドは、主に海外商品先物市場において運用を行うほか、国内外デリバティブ市場における運用および公社債等債券投資を行ないますので、商品先物市場およびデリバティブ市場の価格動向ならびに金利動向や為替相場の変動等による影響を受け基準価格が上下し、投資元本を割り込むことがあります。●本ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。●お申込みにあたっては、販売会社より契約締結前交付書面をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

